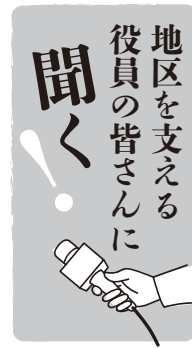


城北



令和3年9月1日現在	
総世帯数	3,748
総人口	7,867
男	3,746
女	4,121



城北地区日赤奉仕団
団長 岡田敏子さん

30年程前、まだ子育て中に城北地区の日赤奉仕団員となり、20年前から城北地区日赤奉仕団長の立場で活動を続けられています。

城北地区日赤奉仕団としての活動は「災害救護活動」「救命法講習会」「募金活動」「社会福祉施設へのボランティア活動（蟻ヶ崎デイサービス・城山デイサービス・日赤乳児院）」などがあります。

また、社協と協力して高齢者へのヤクルト商品配布、弁当配食などがあります。

コロナの影響で思う様に活動が出来ない状況が続いており、防災訓練、救急救命講習、炊き出し訓練など、安全な講習の在り方を工夫していかな



▲団員にヤクルトを手渡す岡田さん(右)



▲配布している健康飲料

ければと考えているとの事でした。

今年からは赤十字奉仕団長野原支部委員会委員長の大役も引き受けています。

人の為、地域の為に何か役に立ちたいと始めた活動でしたが、教えてもらう事が多く、人の為だけでなく自分の為にもなり、また、一緒に活動してくれる仲間がいて心強いです。これからも奉仕の精神を貫いていきたいと抱負を語ってくれました。

最後に、町会と連携して減少傾向にある日赤活動資金募集に一人でも多くの方に入っていたいただき、奉仕団活動にご協力いただけるよう努めていきたいとの一言がありました。

- ひろば委員会
委員長 宮田 幸子さん
副委員長 太田 敏子さん

ひろばとしての活動は井戸端会議（生きがいづくり）あすなる広場、ふれあい健康教室（健康づくり）、レストラン「夢」（ふれあいづくり）、きつき「千客万来」（ふれあいづくり）、のびのびひろば（子育て支援）があります。

この事業は、ひろば委員とサポート隊43人、送迎ボランティア16人が活動しております。スタッフは、2ヶ月に1回委員会を開き、事業の報告と計画の討議を行っておりすべてがボランティアです。

レストラン「夢」は毎月第3水曜日、美味しいカレーを食べに60人位が訪れます。きつき「千客万来」は第3金曜日にお茶を飲み、ふれあいを楽しまします。第1木曜日は井戸端会議があり、7月には、のびのびひろばとコラボして未就園の親子と一緒に七夕人形を作り、「コロナ禍のなか久しぶりに小さい子どもたちの声を聞いてうれしかった」参加者の感想でした。ふれ健は、町会が当番制で独自性の企画で、アコーディオンの演

奏にはじまり体操や脳トレなどオリジナルで楽しみ、毎回40人位の参加があります。人と人が触れ合う場づくりと、健康に関する知識と実践の場として、係わる人、参加する人達は、みんなが生き生きしています。



▲宮田委員長(左)と太田副委員長(右)



▲7月ののびのびひろばの様子

城北地区スポーツ協会
会長 上原 偉敏さん

城北地区体育協会は令和3年度から、スポーツ協会と名前が変更となりました。

コロナ禍で昨年はほとんど活動ができず、今年も変わらず予定競技の開催が厳しい状態が続いていますが、上原会長さんに年間計画と抱負を伺いました。

野球・卓球・ソフトバレーボール・マレットゴルフ)、市民体育大会参加の予選会、第5ブロック球技大会(白板地区・城北地区・中央地区)・軟式野球(ブロック代表)、ママさんバレーボール(ブロック選抜)、市長杯争奪球技大会参加予選会、第5ブロック3地区の親睦卓球大会と予定は盛りだくさんです。また、城北公民館体育部会主催の春秋のウォーキング大会、マレットゴルフ大会、ボウリング大会、軽スポーツ大会(子ども育成会との交流会)に、住みよい町づくり協議会の健康の部会が共催し、地区スポーツ協会の役員及び常任理事の皆様さん方の協力を得ながら、地区の皆さん特に高齢者の方々の体力アップ・体力維持に努めています。

上原会長さんは憎きコロナが早く収束して、「大勢の皆さんで集まって、楽しく元気に体を動かせる日が早く来ることを願っています」と語っておりました。



城北の夏

白馬五竜視察研修 (7/21)



▲幻の青いケシ!



▲散策を楽しむ参加者

青山様・ぼんぼん



▲沢村町会



▲蟻ヶ崎台町会

公民館で遊ぼう (7/30)



▲花火などを楽しみました

ぐるっと城北 施設訪問

国の有形文化財に「聖十字教会堂」が登録

蟻ヶ崎東町会の最南で開智一丁目の街道沿いに、青い屋根の鐘塔が印象的な赤い瓦屋根白い壁のモダンなキリスト教会の建物があります。日本聖公会松本聖十字教会です。

この春、国の「登録有形文化財」に登録され、松本市を通じ登録証が伝達されました。ゴシック様式の木造教会堂は長年景観に寄与しており、今後も末永く使われる文化的な価値が高い貴重な建築と評価されたものです。

教会堂は明治43年(1910年)にカナダの聖公会から派遣された宣教師のフランシス・ケネディらによって大名町に建てられ、昭和



▲鐘塔と玄関



▲礼拝堂 (正面奥に祭壇)

32年の道路拡幅時、幼稚園と一緒に現地へ移転されたものです。司祭の江夏さんは青い鐘塔を前に「平和のシンボルとして、幼稚園と共にこれからも地域の皆さんに親しんで愛され続けることを願っています」と話されました。城北地区には「登録有形文化財」に登録された建物として他に深志高校の校舎・講堂があります。

城北地区人権啓発推進協議会主催

平和を語る会講演

8月6日参加者20人で城北公民館大会議室においての講演で本年度よりパートナーシップ制度が始まったのに関連して市役所人権共生課 永田沙織さんの講演がありました。

パートナーシップ宣誓制度については長野県では松本市のみが制定しており、3組のカップルが宣誓されているとの事です。

「市の目的として、市総合計画で掲げる『一人ひとりが輝き大切にされるまち』の実現を目指す」「二人の宣誓を市が受け止めることで、生きづらさや悩みが少しでも解消され、このまちで暮らし続けながら、個性や能力の発揮に期待」「地域社会で性の多様性への理解が進み、性別に関わらず、市民一人ひとりがかけがえない個人として尊重される、多様な性と活力に満ちたまちの実現につながる」この内容に沿ってビデオと

講師の永田さん▶



▼LGBTQとは… (配付資料より)

「LGBTQ」とは? 性の多様性を表す、代表的なことばです。

- ① レズビアン・・・こころの性が女性で好きになる性も女性
- ② ゲイ・・・こころの性が男性で好きになる性も男性
- ③ バイセクシュアル・・・好きになる性が男性・女性両方に向く
- ④ トランスジェンダー・・・こころの性とからだの性が一致しない人
- ⑤ クエスチョニング・・・性的指向や性自認が明確でない、または決めていない人

OHPによる講演がありました。LGBTQとは体の性、心の性、好きになる性の違いによって存在している人口の約8・9%いるとのことです。詳細については人権共生課で出前講座を行っているので、受講されてみてはいかがでしょうか?